

伊勢JC

[三重]

現役時代の熱い想いを忘れず 気持ちを新しい世代に伝えたい

天照大神(アマテラスオオミカミ)様をお祀りする伊勢神宮の門前町——かつて江戸時代には「おかげ参り」を口々に唱えながら、多い年には日本の人口の6人に1人が参拝に訪れた信仰のまち。内宮・外宮の他、別宮・摂社・末社あわせ総数125社を有する広大な神域は伊勢を中心に4市2町におよび、神路山より流れ出る五十鈴川の清らかな流れ、白霧に霞む朝熊山の緑が美しい気候温暖な土地。山と海に囲まれ地味も豊かに恵まれ、神代の昔から現代にいたるまで全国から大勢のひとが訪れ続けるまち。それが私たちの愛する伊勢です。

7年後(平成25年)に第62回神宮式年遷宮——持統天皇の代より始まった20年に一度、神宮すべての建物・宝物を一新する祭祀——を迎えるにあたり、既に伊勢では昨年より新しい社の造営のための御神木を運ぶ「お木曳き」行事が始まっています。勇壮な各町の奉曳団や全国各地から集う一日神領民を迎えて盛り上がりを見せ、昨年は年間420万人を超える観光客を集めました。本年市制100周年の伊勢市は昨年11月を以つて伊勢市・二見町・小俣町・御園村が合併し総面積208.52km²、人口13万6千人の新「伊勢市」として再出発をしました。

折りしも昭和32年、全国1



上から現役との新年会、神宮樋代木祭に参加

10番目の認証を受けた伊勢JCは、本年創立50周年を迎えます。まち全体がすがすがしい新しい気分に分まられる中、今また若い力が新たな歴史へ向けてのページを開こうとしています。秋には創立50周年記念式典を予定し、「とうかい号」では事務局担当LOMとしての重責も担っており現役メンバーは一丸となつて職務に励んでいます。現在、伊勢JC O B会は会員330名を数え、現役メンバーの活動支援と会員相互の親睦を目的に活動を続けております。新年総会や現役との新春親睦会、年数次のじやがいもコンへの参加を通し、現役たちのよき相談役・兄貴役として、陰からその活動を支えています。



現役メンバーによる神宮正式参拝

忘れることなく、その気持ちのいくらかを新しい世代に伝えることも大切なお役目と感じています。出過ぎることなく、しっかりと一歩ずつ。これからもJC活動のよき応援団として地域発展のため歩んでまいります。

日本JCIシニア・クラブ

三重ブロック担当幹事 濱田典保